

# 標準施工要領書

コンクリ汚れイッキ落ち

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546

TEL 048(297)4111 FAX 048(290)1198

## 1. 特 長

- 1) コンクリート、モルタル、コンクリート二次製品等に付着した汚れ（水垢、カビ、コケ、泥、タイヤ痕、油、セメントの白華等）を容易に除去できます。
- 2) 不燃性の酸性液体です。

## 2. 養 生

- 1) 植栽等は枯れる恐れがあるため、十分な養生をしてください。
- 2) 大理石、御影石等は光沢を損ねることがありますので、十分な注意をしてください。
- 3) 金属部分に付着すると錆びる恐れがありますので、十分な養生をしてください。
- 4) 変色の恐れのある材質もありますので、事前に試し塗りを行ってください。

## 3. 工 程

工 程	材 料 ・ 調 合	施 工 器 具	使 用 量	塗回数	間隔時間
材料塗り	コンクリ汚れイッキ落ち	ローラー 刷 毛 モップ	0.1~0.3 ㍓/㎡	1 回以上	2~3 分
洗 浄	水	高圧水洗浄機 柄付きブラシ	——	——	常温で乾燥 養生

※上記の数値は全て標準のものです。1回で除去できない場合は、再度繰り返してください。

※室内等で水洗いができない場合は、モップで十分に水拭きしてください。

## 4. 工 法

### 1) 材料塗り

全面に散水し表面に十分に水が溜まっている状態で、ローラー、刷毛（金属製ブラシを除く）を用いて、原液で 100~300ml/㎡を平均に塗布します。汚れの程度により液を 2 倍（水 100ml に原液 100ml）に薄めて使用してください。塗り付けると泡状の反応が起こりますので、泡が消えるのを待ちます。

### 2) 水洗浄

本剤を塗布後 2~3 分で泡は消滅します。消滅後、高圧洗浄機または柄付きブラシ等でこすりながら、全面を水洗いしてください。洗いが残存しないようにゴムレーキやウエスで拭き取ります。しっかりと水洗いをしないと、シミが残る恐れがありますのでご注意ください。シミが残った場合は、再度水洗浄を行い、それでも残る場合は水やエタノールを含ませたタオルで強く拭き取りを行ってください。

### 3) 乾 燥

放置して自然乾燥させます。一度の作業で汚れが除去できない場合は、この作業をくりかえします。

### 4) 片付け

使用したブラシ等はしっかりと水で洗浄します。

## 5. 注意事項

※新設若しくは新設に近いコンクリート（一般に白い状態）の場合、表面のセメント分が溶かされてコンクリート中の砂が露わになることにより、色が変わって見えることがありますので十分ご注意ください。散水を行わずに洗浄した場合や汚れている箇所のみを洗浄した場合も同様です。洗浄を頻繁に行うとコンクリート表面を傷めてしまう恐れがありますので、洗浄は半年に1回程度にしてください。

- 1) 本剤は他の容器に移さずにご使用ください。
- 2) 汚れの層が厚い場合は、先にスクレーパーまたは皮すき等で除去した後に本剤を塗布してください。
- 3) 壁や天井など顔より高い箇所に使用する場合は、スポンジにつけて塗るなど、飛び散りやダレのないように注意してください。
- 4) 用途以外には使用しないでください。また他の材料と混ぜて使用しないでください。特に塩素系材料と混ぜると有害な塩素ガスを発生して危険です。
- 5) 使用の際には、ビニール製の保護手袋、保護眼鏡を着用してください。
- 6) 一度容器からとり出した材料は、汚染防止のため絶対に元の容器に戻さないでください。
- 7) 使用後は手をよく洗い、荒れ性や多量に使用した場合には、クリーム等での手入れをおすすめします。
- 8) 液が直接皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに水などで十分に洗浄してください。
- 10) 眼に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗眼し、異常のある場合には医師に相談してください。
- 11) 誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、すぐに口をすすぎコップ1～2杯の水を飲ませてください。異常のある場合には医師に相談してください。
- 12) 誤飲を起こす恐れのある容器での保管は避けてください。
- 13) 材料の保管は、0℃以上40℃以下の雨露のかからない場所で行ってください。
- 14) 材料の取扱いについては、製品に記載された注意事項をよく読んでからご使用ください。その他詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 15) 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- 16) 本剤の黄色が薄くなっても性能に問題はありません。
- 17) 側溝、河川、湖沼等には直接廃棄しないでください。
- 18) 吸入して呼吸が困難な時は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 19) 金属製ブラシ、タワシは使用しないでください。

## 6. 梱包形態

内容量	形態	施工面積 (㎡)
1L	ポリ容器	3~10

※施工面積は塗布する下地の種類、汚れの程度により増減します。